

特急列車を活用した荷物輸送（客貨混載）の実証実験の実施について

2022年3月16日
株式会社伊予銀行
四国旅客鉄道株式会社

株式会社伊予銀行（代表取締役頭取 三好 賢治、以下「伊予銀行」）と四国旅客鉄道株式会社（代表取締役社長 西牧 世博、以下「JR四国」）は、ヤマト運輸株式会社様（代表取締役社長 長尾 裕様、以下「ヤマト運輸」）と連携し、愛媛県内産品を特急列車「宇和海」（JR予讃線松山・宇和島間を運行）で運ぶ荷物輸送（客貨混載）の実証実験を実施しますので、以下のとおりお知らせいたします。

1 目的

- (1) 鉄道の定時性、速達性を活かした新たな価値の創出
- (2) 環境負荷の小さい鉄道による荷物輸送の取組み（モーダルシフト）の推進
- (3) 県内生産者と消費者を繋ぐことによる地域活性化への取組み

2 実施日

2022年3月25日（金）

3 スキーム

- (1) 「宇和島産の養殖マグロ」を加工・梱包のうえ、宇和島市から松山市まで輸送いたします。
なお、本実証実験では、株式会社宇和島プロジェクト様（代表取締役社長 木和田 権一様、以下「宇和島プロジェクト」）が発荷主として、株式会社ホテル椿館様（代表取締役会長 宮崎 光彦様、以下「ホテル椿館」）に着荷主としてご協力いただきます。
- (2) 特急列車「宇和海」の自由席及び乗務員室を活用し、JR宇和島駅からJR松山駅間の荷物輸送を実施いたします。なお、列車以外の輸送についてはヤマト運輸が行います。
【対象列車：特急列車「宇和海10号」（宇和島駅 9:55 発⇒松山駅 11:20 着）】

4 取組みの経緯と今後の展望

- (1) 伊予銀行がJR四国及びヤマト運輸に対して列車を活用した荷物輸送（客貨混載）の取組みを提案し、本実証実験の実現に至りました。
- (2) 実証実験の実施・検証を踏まえ、県を跨いだ物流網の構築についても検討を行います。

